働くことへの意欲を高める でら

だきました。 の就労継続支援B型事業所を見学をさせていた その事を知ってもらいたいと思い、先日、はには沢山の仕事があります。利用者の皆さ 沢山の仕事があります。利用者の皆さんにも作業しか触れる機会がありません。でも実際おぞら工房の利用者の皆さんは、あおぞら工 他法人

今後は一般企業の見学も考えています。 業があればいいなぁ」と言った声もありました。 すか?」「お給料はいくらですか?」と質問をさの部品?」「このミサンガ、どうやって作るんでの皆さんは興味を持たれたようで、「これはなんありました。日頃目にしない作業の数々に利用者 ガの制作などあおぞら工房にはない作業が沢山訪問させて頂いた事業所には、印刷業やミサン このような活動を通して利用者の皆さんが働 いました。中には「あおぞら工房にもこの作

くことへの視野を広げると同時に、 てをすることで、 と思って 興味や適性に応じた作業の 般就労に向けてのイメージをもってもら 私たち職員は、 います | 宇之二、| 作業意欲が高められるよう、努性、大作業の提供、支援の組み立 利用者の皆さんの作業へ ってもらいた、一人ひとりが

うぞお楽しみに

あおぞら工房 いきたいと考えています。 主任支援員

内田 孝洋

宮領本店オープンに向けて

!!

技術が必要であり、パン屋の個性が出ます。というのです、宮領本店の目玉商品にしたいと考え、で今、宮領本店の目玉商品にしたいと考え、下づくりに力を入れています。(現在の本店に本店を移してオープンします。(現在の本店に本店を移してオープンします。(現在の本店に本店を移してオープンします。)

だけに技術が必要であり、

あおぞらぱん屋さん本店 目玉商品 バケット



小谷秋の大収穫祭

皆様、あおぞを高めてオープを高めてオープを高めてオープ あおぞらぱん屋さん宮領本店オオーフンを迎えたいと意気込ん しい、 ぞらぱん屋さん宮領本店オープンをどプンを迎えたいと意気込んでいます。,し商品になりますように、更に完成度 小麦の旨みが味わえる」と言 人気をい いる食パンと

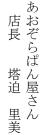
日時:10月26日(土)10:00~15:00

ゲスト:さいねい龍二さん

主催:小谷小学校区市民協働まちづくり協議会

場所:総合活動センター(あおぞらパン屋さん 駐車場)

おいしい食べ物出店も多数あります。ぜひお越しください!







宮領デイセンターの役割り

社会参加の場となっています。 って「生活介護」は日中活動のほとんどを占めて任も求められます。宮領デイセンターの利用者に 任も求められます。宮領デイセンタ 障害のある人たちが自分の 私たちが職場へ働きに行くのと同様に、 通所施設の果たす役割は大きく、 こくのと同様に、重要なのほとんどを占めておセンターの利用者にとんとをらめておりませんと

人としては湯の色が変わることを楽しんでいるのっては足浴用の湯桶に入浴剤を入れていくこと、本わってはいけないと思います。例えば、Aさんにと業が、日中過ごす事のできる「ただの居場所」で終 ていますが、コミュケーションの苦手な障害のある出来事に関与したり役割を果たすこと」と定義されICF(国際生活機能分類)では、「参加とは社会的 の形であると言えます 手を挙げることが、Bさんにとっての参加のひとなと同じフロアに立つこと、そして名前を呼ばれ であり役割となっています。Bさんは朝の会でみんですが、実は皆とコミュニケーションのとれる機会 はありません。だからといって、 ていますが、コミュケー 人たちにとって「参加」 することはたやす では、 社会参加とはどのよう 「生活介護」 ので しょうか いことで の事 0

い「参知 信を持 「参加」を創り出していくこと、それす。できるだけたくさん、具体的に、を持つことが、次への社会参加への一 人ひとりが社会や地域との 役割りであると思って 0 Cいます。 に的に、その人らしたのした。 での一歩だと思い なが りを感じ い自

宮領デイセン 管理者 堀川勝彦

宮領

ワ